

響きをつなぐ人々

人々

ピアニストと調律師と舞台技術者の
情報交換のためのセミナー



2026年2月3日[火]

10:30~16:30 (開場10:00)

会場／呉信用金庫ホール

広島県呉市中央3-10-1



入場無料 (要 参加申込)

長い時間をかけて造り上げた音楽をステージで紡ぐピアニスト、その表現を支えるべく楽器を最良の状態に整える調律師、そして演奏が最も美しく映える空間を整える舞台技術者。対談や演奏、実際のピアノ・ステージ機材を用いた実演を通じて、演奏環境づくりにおける相互理解と連携の大切さを考えます。

出演者：多賀谷 祐輔(ピアニスト) 武内 順一(ピアノ調律師) (株)篠本照明(舞台技術者)

主催 (一社)日本ピアノ調律師協会中国支部

共催 (公財)呉市文化振興財団 協力 (株)篠本照明 ハーコブ株式会社

後援 (一社)全日本ピアノ指導者協会広島中央支部 (ピティナ)

後援 (公財)日本ピアノ教育連盟山陽支部 (JPTA)

響きをつなぐ人たち

(一般社団法人日本ピアノ調律師協会中国支部2025年度第5回研修会)

日時：2026年2月3日(火) 10:30~16:30 (開場10:00)

場所：呉信用金庫ホール (広島県呉市中央3-10-1)

第1部 10:30~ ピアニストと調律師と舞台技術者のトークと演奏
(12:30~13:30 休憩)

第2部 13:30~ ピアノコンサートを成功させるための実践セミナー

1部ではピアニストと調律師と舞台技術者がコンサートでのエピソードを交えたトークを行います。皆様が日頃疑問に思っている事、例えばフルコンサートピアノと一般のピアノの違いは？自分に聴こえる音と客席で聴こえる音の違いは？ピアニストが映える照明のノウハウは？ピアノシモの音を客席に響かせるには？倍音ってなに？そもそもピアノ全体を鳴らすってどういうこと？などの疑問をテーマにしてディスカッションを行います。

そして2部では実践を交え、ピアノの位置による響きの違い、調律の違いによる響きの違いや、タッチ調整の違いによる響きの違いなどの疑問を、ピアニストと調律師と舞台技術者の情報交換により明らかにし、より良いコンサートの成果に導きます。

ピアノ学習者やピアノ指導者、ピアノ愛好家のみならず、音楽ホールや舞台技術者の皆さまにも役立つ内容も盛り込んで進めてまいります。

出演者紹介



ピアニスト
多賀谷 祐輔

東京藝術大学音楽学部附属高校、同大学を経て、大学院修士課程修了。大学院在学中、文化庁新進芸術家海外留学制度によりアムステルダム音楽院に留学。オランダ滞在中はダンスを交えた即興パフォーマンス、フォルテピアノなど幅広い分野での研鑽を積む。フィナーレ・リグレ市パルマ・ドーロ賞国際コンクール、モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。帰国後は文化庁/日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクト、日本ショパン協会例会を始めとする定期的なソロリサイタルの他、内外の演奏家との共演、即興演奏、アウトリーチなど多彩な活動を展開。2013~2024年度東京藝術大学非常勤講師、2021年度岩手大学特命准教授などを歴任、現在は広島大学准教授として後進の育成にも積極的に携わっている。

1948年(S23年)山形県出身。高校卒業後、浜松市の富士楽器製造株式会社を経てNHK交響楽団専属コンサートチューナーだった故 齋藤義孝氏に師事。1979年(S54年)株式会社松尾楽器商会に入社。スタインウェイ&サンズ社のニューヨーク本社、ロンドン支店、ドイツ・ハンブルグ工場等にて技術及び営業研修。ミュチスラフ・ホルショフスキー、クラウディオ・アラウ、ルドルフ・フィルクスニー、レギナ・スメンジャンカなど、内外ピアニストのコンサート調律を多数手がけてきた。2016年よりフリーランスピアノ調律技術者。(一社)日本ピアノ調律師協会会員。これまで全国文化施設のピアノに対する基礎知識及び保全管理等のレクチャーやセミナー講師として全国公立文化施設協議会や全国ホール協会等より、またピアノ技術者の研修会講師として技術者組織、楽器店等に数多く招かれている。



調律師 武内 順一



その他 (株)篠本照明の舞台技術者の皆さん
(一社)日本ピアノ調律師協会中国支部の会員



参加申込み方法

右記のQRコードからご本人がお申し込みください。

お申し込み締め切り：2026年1月26日(月)24時



お申込み・お問合せ：(一社)日本ピアノ調律師協会中国支部
090-7978-0440 info.tuners.09@gmail.com